



お気づきになっていると思いますが、4月からは私が栄養指導にあたっています。私は神学論文で「現代心理学の動静と聖書的カウンセリングの課題」「病の成因と教会の癒しの力」などを30年以上前に書き、マリヤ・クリニックの医療姿勢を妻と話し合った上で開業したのでした。それ以前に経営学の大学院では行動科学や人間関係論を履修し、開業後に大学院で心理学を専攻し(多忙の為に退学)、1991年から分子整合医学研究所の指導の下でケンビのディレクターとして研修を積んできました。6冊の本も院長と一緒に書き上げてきましたが、表に出ることは避けてきました。

しかし、昨年から回復の会を含めて、私が個人的に接した方が治療の成果が出るようであり、講演依頼も多くなってきたことを踏まえて、患者さんの問診や検査説明を行い始め、それらの出会いと感想はブログに載せています。非常に多くのことに気が付き、院長と話し合って治療に役立っています。私は説明というより、皆さんがどれだけご自分の血液検査の値とその症状を理解しているかを確認して、院長の説明をわかりやすくすることに心がけています。管理栄養士が慣れてきたら、ある程度任せられるようになりますが、ご指名くだされば、喜んで担当させていただきます。

妻の服を買いにヨーカドーへ行って、鏡に映る自分の姿に唖然となりました。これはトドかと思ひ、栄養指導をする資格がないと反省しました。忙しさの中で、運動をしても抑え気味でした。日中は現場仕事なので、社長業は昼休みと夜、牧師業は夜中となり、趣味の園芸をやる暇もなく、ゴルフもスイングを忘れてしまうほどです。

連休は沖繩に行つて、栄養医学を行っている医師と低血糖症治療の打ち合わせ、そして精神科と心療内科の病院の視察をし、その合間に念願のスキューバ・ダイビングをする予定です。太り過ぎて体力が心配ですが、これを機に減量と身体づくりを心がけます。秋まで太っていたら、皆さんの前には出られなくなってしまうでしょう。事務長・柏崎久雄

*** 感染症の疑いのある方は廊下の入口から**

インフルエンザ、風邪、おたふくかぜ、はしか等が疑われる方は、中央通路わきにあるインターホンでご連絡ください。状況を確認して感染症患者待合室に誘導しています。院内感染を避けるためご協力ください。病態別に隔離して診察しますので、ご安心ください。

*** 保険証の変更について**

4月から社会保険事務局発行の保険証(オレンジ)ではなく、全国健康保険協会の水色の保険証になっています。70歳以上の方は、高齢受給者証も必要です。

*** 診療報酬の明細付き領収書となります。**

当院では、4月から診療報酬の算定項目のわかる領収書となっております。個人情報なので、取り扱いにご注意ください。再発行はできません。

*** ビタミンC点滴療法について**

ガン治療の選択肢として、体調維持と治療のため、副作用の無いビタミンC点滴療法があります。

*** 「低血糖症と精神疾患治療の手引」(院長著) 増版**

1月28日に増版されました。1890円です。「栄養医学ガイドブック」1890円も発売中です。

*** 「聖書を読む会」5月11日(火) 2時〜2時20分**

待合室にて行います。どなたでも参加できます。

*** 「回復の会」5月18日(火) 11時〜4時**

一般社団法人低血糖症治療の会の会員は、1回2000円で柏崎理事長による個別研修を受けることができます。8名限定です(3回分前納)。体質と状況に応じたアドバイスと会員同士の交流があります。

*** 「ティールーム・マーサ」を来院の前後に御利用すると一人50円引きとなります。診察待ちにも御利用できます。**

< 自費検査のご案内 >

マリヤ・クリニック

通常は保険診療ですが、ご要望により以下の自費検査を行うことができます。

< 国内検査 >

1. 糖負荷 5 時間検査 (OGTT) 要予約 検査費用 ; ¥18,900 栄養指導料 ; ¥2,100

低血糖症の検査のために行うもので、5 時間に 9 回の採血と検尿、体温測定があります。検査後に体力回復のための点滴とサプリメントを無料でサービスしております。

「低血糖治療・検査申込書」「問診表」「糖負荷検査予診表」(発病前・後の2部)「低血糖症・症状経過確認表」「食事アンケート」「自由記入表」の計7点に記入提出後、電話予約をして下さい。(前日の夜 9 時以降絶食です。) 9 時までに来院してください。4 時から 5 時くらいまで掛ります。

ご注意: 予約されて来院されなかった場合、キャンセル料として 2,000 円をお支払いいただきます。(一度予約をされますと、看護師、栄養士が事前準備の業務に拘束されます。また、他の患者さんの予約をお断りしなければなりません。そのような事情を御理解下さい。) 遠方の方などに宿泊室を用意しております。1 泊 1 室 6,000 円 (3 名まで)。

2. G 6 P D (血液検査) ¥10,500 アスコルビン酸濃度測定 ¥5,250

がん治療のために高濃度ビタミン C 点滴をするための検査です。一般の健康回復のために 25g 以下でビタミン C を点滴するためには必要ありません。

がん治療の効果を診るためにアスコルビン酸濃度測定検査を行います。

3. ヘリコバクターピロリ IgG 抗体・ペプシノーゲン検査セット (血液検査) ¥5,250 ヘリコバクターピロリ IgG 抗体のみ検査 ¥2,100

胃がんの要因であるピロリ菌を検査します。保険適用には細かな条件がありますが、自費でも除菌治療の薬代は 1 週間で 1 万円 (処方料込) ほどですので、内視鏡検査をするよりも容易なので、胃の調子の悪い方にはお勧めいたします。

4. 前立腺がん検査 (PSA-ACT、血液検査) ¥3,250 円

5. 個別ホルモン・ミネラル等検査 (血液検査)

亜鉛・銅 ¥1,850 フェリチン ¥1,260 セロトニン ¥2,100 カテコールアミン ¥2,100

貧血やイライラ・不眠・感情的な不安定などの原因を調べます。

6. 便検査 ¥3,700 (健康保険が使える場合があります)

腸内における酵母菌・一般細菌・嫌気性菌の有無を調べます。お腹の調子が悪い人や慢性疲労の人、感情的な不安定の原因を調べます。

7. 毛髪検査 ¥10,500 栄養指導料 ¥3,150

血液・尿検査では分らない有害ミネラル (ヒ素・水銀・鉛・アルミニウム・カドミウム) の長期間にわたる蓄積や、必須ミネラル欠乏などを調べます。

イライラや疲労感・頭痛などの症状や長期間にわたる原因不明の慢性的な症状のある方、精神的・神経的に不安定な方に医師がお勧めすることがあります。

< 海外検査 > 栄養指導料；¥5,250 円（1年間有効で、複数検査しても同額です。）

1. 有機酸検査 OAT（尿検査） ¥23,000 送料¥6,000（海外、同送可）

この検査は尿中の有機酸合成物、およびその他の代謝物質の量とバランスをみることで、身体の代謝機能に異常がないかを調べる検査です。人体及び腸内酵母菌の産生する有機酸、ホルモン等 75 種類の代謝物について調べます。

体内で代謝が行われると、副産物として様々な有機酸合成物などが生成され、尿中に排泄されます。しかし腸壁に損傷がある患者や自閉症患者、広汎性発達障害者、先天的酵素欠損の体質患者には、酵母菌や他の腸内細菌によって、通常にはみられない種類や量の有機酸合成物が尿中に排泄される場合があります。排泄された有機酸合成物の量やバランスは神経系機能、ビタミン活用、体力、エネルギー代謝、ホルモン活用、筋機能の状態を反映していると考えられます。

細胞内ミトコンドリアで働く TCA 回路をこれらの有機酸が働きづらくさせているためにエネルギーが作られづらく、神経に影響を与えるホルモンも産生するために、慢性疲労・神経過敏・大腸炎・関節炎・自己免疫不全などの症状を起こします。

2. I g G アレルギー検査 ¥22,000（採血料 別途¥1,000） 送料¥6,000

保険適応のある I g E（食後 15 分～2 時間で反応の出る検査、即時型アレルギー）検査では分らない遅延型（食後約 2～6 時間で反応の出る検査）のアレルギーについて、93 項目の食物アレルギー状況を調べます。

このアレルギーは、即時型のように明確に身体に影響が表れにくいのでわからないのですが、実際には脳を含めて心身に大きな影響をもたらしています。アレルギー原因となる食物を突き止めて、精神・神経症状の緩和を図るとともに、アレルギーの原因となる腸内環境を改善して治療を図ります。

3. ペプチド検査（尿検査） ¥11,000 送料¥6,000（海外、同送可）

乳や小麦の未消化のペプチドであるカソモルフィンやグリアドルフィンが血液中にあるかどうかを調べます。グリアドルフィンとカソモルフィンはヘロインやモルヒネのような働きをするので、脳の側頭葉（言語・聴覚を司さどる部位）に影響を与え、GABA の働きを抑制し、ドーパミンの分泌を促すことがわかっています。

聴覚過敏などの症状のある方や妄想・幻聴・幻覚のある方の原因検査です。

4. 酵母菌検査（便検査） ¥13,000 送料¥6,000

通常、健康な人の腸内には様々な菌が存在し、バランスを取りながら腸内の環境を維持しています。この検査は便を調べることで、酵母菌など身体にとって有害な菌が腸内にどの程度存在しているかを調べます。

5. 毛髪検査 ¥12,000

身体の解毒能力が低下し体内に有害ミネラルが蓄積すると、イライラや疲労感、頭痛などの症状の原因になる可能性が考えられます。長期間にわたる原因不明の慢性的な症状に有害ミネラルの蓄積が関与しているかを調べる検査です。

有害ミネラル 15 種類、必須ミネラル 23 種類の検査ができます。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜（午前8時30分～12時10分、午後2時30分～5時30分）

土曜（午前8時30分～12時10分、午後2時～4時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・小中台小学校校医
- ・各種健康診断
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)

《 ビタミンC点滴静脈注射療法について 》

高濃度ビタミンC静脈注射療法は、細菌やウイルス感染全般、またはガンにおける補助的治療として使われています。この治療法は、他の効果的、確認済みの治療にとってかわるものではなく、むしろ次の場合に行うべきと考えられます。すなわち、明らかな有効な方法がない場合、従来の方法ではうまくゆかない場合、確認済みの方法と一緒にする場合、などです。

ガン患者は、血液や組織中、細胞内のビタミンC濃度が低下しています。薬理作用を期待できる適切な濃度のビタミンCは、効果が高いと言われています。また、経口摂取では、到達する血中濃度が限られています。(1日12gのビタミンC経口摂取でガンの進行が抑えられた報告があります。)

初回は、ビタミンC15gを週に2～3回から始めます。

この段階でだるさや、痛みの減弱が見られます。

次に週2～3回30g～75g(場合により約100g)まで増量して行います。

1回の点滴で使うビタミンCの量は点滴直後のビタミンC濃度が400～430mg/dlまであがるまで増量し、その後はその量を維持します。

* 医療保険適用はありませんので、自己負担となります。以下は抗ガンのための経費です。

- 点滴の料金として1回の治療に1万5千円～2万程度で、週2～3回が必要です。
- G6PDの検査【初回のみ、赤血球の膜が溶血を起こしやすい体質がないかどうかの検査】
- アスコルビン酸濃度測定を約月1回(自費)
- 点滴効果を高めるために、経口サプリメントを摂取します。
- 月1回、身体の栄養状態と腫瘍マーカーなどを検査する料金が別にかかります。

(その他の適応疾患)

ビタミンC濃度が低いので、G6PDの検査も必要なく、25gのビタミンCの点滴で5-6,000円です。

悪性腫瘍、感染症、神経疾患、膠原病、疲労感、重度のつわり、アトピー性皮膚炎、熱傷直後の炎症、血中ビタミンC濃度が低い方

※世界で数例次の副作用が報告されています。

1. 下痢、嘔吐(点滴前に腎機能検査を行います。点滴中の浸透圧が高い場合にも吐き気が起きることがあります。)
2. 低カルシウム血症(点滴中にカルシウム製剤、マグネシウム製剤を使用します)
3. 溶血(点滴前にG6PDの検査を行います)
4. ガンの壊死による出血(稀にあります)
5. 不眠